

# 令和 2 年 度 事 業 報 告

## 1. 総務関係

- (1) 地区協会に対する事務協力費については、令和 2 年 1 2 月 4 日に 1 地区当たり 6 万円を配賦した。
- (2) 主要食糧等の保管を巡る情勢等の説明と業務運営の打ち合わせのため、全国地区食糧保管協会事務局長会議を令和 2 年 1 1 月 1 1 日 KKR ホテル東京において開催を予定したが、新型コロナウイルス感染症第 2 波の拡大に伴い、開催を中止し、令和 2 年 1 2 月 1 0 日書面により情勢報告を行った。

## 2. 米穀の安定供給等への寄与

- (1) 政府所有米穀の包括的民間委託の制度運用動向等に関する情報の収集を行った。
- (2) 令和 2 年 9 月、新型コロナウイルス感染症の拡大による外出の自粛等から、外食の大幅な需要落ち込みと併せて、産地農業倉庫で例年よりも前年産米の大幅な在庫拡大となった、このため、令和 2 年産米の産地保管倉庫の確保が困難となり、備蓄米の政府運送による倉庫収容力の確保に関し(株)上組から、並びに更なる国内産米穀の受託希望数量の拡大に関し全農の委託を受けた全農物流(株)から当協会に情報提供の要請があり、全国の会員に対し調査を実施し、9 月末時点で倉庫収容力が 6 万 9 千ト、国内産米の受託希望数量が 5 件で 5, 2 8 0 トの取りまとめとなり、それぞれに情報提供しました。
- (3) 政府所有米穀の販売等業務の令和 2 年度入札情報及び備蓄米のカビ確認業務に関する情報について、会員に情報を提供した。
- (4) 奨励規格フレコン（全農統一フレコン）及び農産物検査の受付条件にフレコンが設定されることに関して関係者への聞き取りを行い、会員へ情報提供を行った。
- (5) 正副会長会議で全農統一フレコン（推奨規格フレコン）に関する会員の意見を取りまとめ情報提供することを決定し、推奨規格フレコンに関するアンケートを行った。1 0 月 2 日、アンケートの結果で、特に、「倉庫保管時の荷の安定性」については、9 会員から問題なしとしたが、1 5 会員から問題ありとした意見が提出されたため、その対応について正副会長が協議し、問題ありとして意見の代表的なものを取りまとめ、令和 2 年 1 0 月 9 日(金)事務局から全農に対し情報提供するとともに、今後の実証試験への当方会員の参加や段積み試験の取り組みについて打診を行いました。

(6) 推奨規格フレコンについては、会員の働き掛けにより農林水産省担当官と面会する機械が11月9日に設けられ、事務局と4会員が出席し、農林水産省の説明を伺うと同時に倉庫会社の事情説明が行われました。その際、事務局から「役所から全農へ当方の推奨規格フレコンの現場視察の働き掛けをお願いした」ところ、米の充填された推奨規格フレコンが保管された現場の視察が11月12日に実現し、埼玉県久喜市の全農関連倉庫における当該フレコンの状況について、会員に情報提供しました。

### 3. 麦類の安定供給への寄与

(1) 食糧用輸入小麦の即時販売方式及び食糧麦備蓄対策事業の制度運用動向等に関する情報収集を行った。

### 4. 寄託契約に係る荷主に対する債務保証(共済基金)

(1) 建物等被害見舞金については、給付案件が発生しなかった。

(2) 火災事故見舞金については、給付案件が発生しなかった。

(3) 保管事故見舞金については、給付案件が1件発生した。

### 5. 保管技術に関する調査、知識の普及及び指導

(1) 主要食糧等の保管技術に関する情報収集を行った。

(2) 食糧保管技術研修会の第71回研修会を令和2年11月26日～27日に岡山県岡山市において、第72回研修会を令和3年1月28日～29日に宮城県仙台市において開催を予定したが、新型コロナウイルス感染症の第3波が令和2年12月下旬から拡大し、令和3年1月7日に政府の緊急事態宣言発出(1都10府県)を受けて、正副会長会議を開催し第72回研修会を中止とした。開催された第71回研修会については、昨年度の研修会アンケート結果等を踏まえ、現地研修や日本能率協会コンサルティングによる「食品製造業の品質保証とトラブル対応」を取り止め、一昨年度のカリキュラムに回帰し新型コロナウイルス感染症への防止措置を行う中で19名の受講生の参加を得て実施しました。

(3) 第11回麦類の保管技術研修会については、令和3年2月19日に東京都開催を岡山県岡山市開催に変更し実施しようとしたが、コロナ感染症(第3波)の拡大に伴う令和3年1月7日の政府の緊急事態宣言発出(1都10府県)を受けた正副会長等会議において、中止が決定されました。

- (4) 令和3年度の保管技術研修会については、令和3年2月に予定した保管技術委員会及び麦類サイロ委員会がコロナ禍の緊急事態宣言発出により中止となったため、開催時期等の決定については、新年度の委員会に委ねることとした。
- (5) 当協会から温・湿度基準器(ヴァイサラ社製電子式温湿度計)の無償貸与を受けた地区協会(除愛知、岡山)においては、令和元年度で218回の貸出があり、また、当協会から直接貸し出した分については、17回の貸出があり、全体で延べ218回の貸出となった。
- (6) 温・湿度基準器による校正結果の温湿度計への表示の便を図るため、当該温湿度計に貼付する輪郭黄色校正シールを作成し、令和3年3月に必要とする会員へ無償で2,000シート配布した。
- (8) 「米麦保管管理の手引き」改訂版の作成及び付属DVDの作成を完了した。
- (9) 保管管理に必要な資材・器具等の購入斡旋を行った。

## 6. 代理受領等関係

- (1) 当協会扱いの民間流通米麦について代理受領事務を行った。
- (2) 政府所有輸入食糧等の港湾作業料金について代理受領事務を行った。

## 7. 広報・宣伝等

- (1) 農業・食糧政策、米麦及び飼料穀物の需給・流通に関する情報を収集し、地区食糧保管協会を通じて会員に提供した。
- (2) 関係団体及び地区食糧保管協会の会議等に参加し、関係団体等との連携及び情報・意見交換を行った。
- (3) 機関紙「食糧保管通報」を毎月1回発行した。
- (4) 令和2年7月1日付けで「令和2年度版一般社団法人全国食糧保管協会会員名簿」を発行し、会員に配布した。

## 8. 一般社団法人全国倉庫業退職金共済会の運営

当協会会長と一般社団法人全国倉庫業退職金共済会理事長との間で締結した事務委託契約書に基づいて共済契約の締結、掛金の徴収、退職金の給付等の事務を行った。

## 9. 全国定温倉庫協同組合の運営

当協会会長と全国定温倉庫協同組合理事長との間で平成28年7月22日締結した業務委託契約書の更新手続を行い、当該更新契約書に基づき、共同受注斡旋業務、共同物品斡旋業務、団体協約締結業務等の事務を行った。